



日本共産党

いぬい紳一郎の 市政だより

流山市議会議員

2015.10.15 NO.70

9月議会あれこれ

課長答弁が3回も逆転!?…決算特別委員会の珍事

決算特別委員会では、個別の事務事業に踏み込んで質疑がおこなわれるため、答弁は担当課長がほとんどです。大きな政策にかかわることは、部長や副市長が答えます。

今年の決算委員会では、課長の答弁を副市長が訂正する、或は課長がいったんおこなった答弁を後で訂正することが目立ちました。

エピソード① 非婚のシングルマザーへの支援策

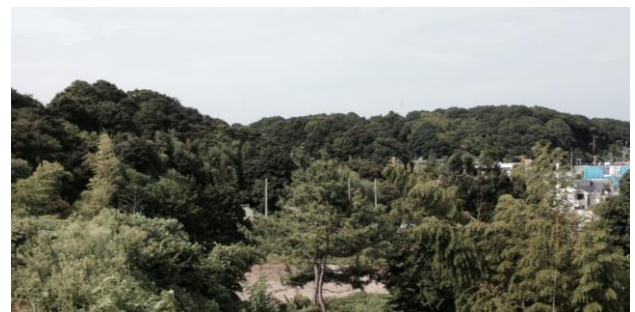
結婚している母子家庭には児童扶養手当など母子福祉の手が届きます。ところが、未婚の場合には母子福祉がまったくないのです。そのため、非婚の場合でも、保育料や市営住宅家賃などを軽減する「みなし控除」を適用している自治体が広がり、今では、近隣市でも実施しています。共産党が、非婚母子家庭への「みなし控除」適用を要求したところ、担当課長は「実施を検討する」と一歩踏み込んだ答弁をしました。ところが、副市長が手を挙げ「検討しない」と否定したのです。

エピソード② 次期ごみ焼却施設の計画づくりと基金積み立て

自民党議員の質疑に、クリーンセンター所長は、「12年が経過して炉の痛みが激しく、多額の維持・補修費を費やす現在の流動床式ガス化溶融炉を、このまま長期に使っていくのか、別の焼却方式に切り替えるのかも含めて検討していく。次期焼却施設の準備のための基金の積み上げを財政当局にお願いしたい」と答弁しました。これを、副市長が即座に「お金がない」と否定しました。

エピソード③ 副市長が訂正したものではありませんが…

つくばエクスプレスがトンネルを出た所にある「思井の森」。「都心に一番近い森」でオオタカが営巣しています。「思井の森を保全すべき」との共産党の質疑に、担当課長は「開発者



「流山民報」号外 発行：日本共産党いぬい紳一郎事務所

問い合わせ・連絡先 04-7150-6099 流山市議会事務局（政務活動費使用のルールが変更され、市議への直接の連絡先を表記できなくなりました。日本共産党は是正を求めています。）



の千葉県と思井の森の保全について協議したい」と答弁。ところが、後で担当課長が「思井の斜面部分の保全を協議」と答弁を訂正。斜面部分はずでに残す計画になっているのです。おそらく、上からの圧力があったのでしょう。

担当部局が、市民要望や専門的知見にたって検討していても、トップの政治的な思惑でちゃんと答弁しないことはこれまでも度々ありました。反共シフトがひかれる下で、共産党の要求に答えないということがかつて横行していました。眉山市政時代に、私は、学校の耐震診断の実施を粘り強く主張しましたが、否定していました。ところが、ある時、一度も取り上げたことのない議員に質問させて、耐震診断の実施に方針を転換しました。これが、その後の学校の耐震改修につながったのです。今回の決算委員会の副市長の対応を見ていると、その当時のことを思い出しました。本当に“感じ悪いよね！”と言いたいです。

戦争法廃止!宣伝行動@おおたかの森駅

10月19日(月)午後4~5時

強行成立から一か月。声をあげ続けましょう! どなたでも参加できます。

主催「憲法こわすな・戦争させるな!流山連絡会」

安倍内閣は退陣を
戦争法を廃止へ

何度でも、
国会前へ。

10/19 月
18:30~ 国会正門前
毎月19日行動[国会正門前集会]

戦争させない・9条を壊すな!総がかり行動実行委員会
<http://sogakari.com>

アベ政治を
許さない

澤地久枝さんのよびかけで、7月18日全国いっせいに「アベ政治を許さない」のポスターが掲げられ、話題をよびました。

強行採決に怒り、ふたたび澤地さんから、今後毎月3日の午後1時に掲げよう、とよびかけられています。